

2021年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年1月6日

上場会社名 株式会社ベルシステム24ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6183 URL <https://www.bell24hd.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員CEO（氏名） 野田 俊介  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員（氏名） 辻 豊久（TEL）03-6893-9827  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	102,144	7.0	10,147	14.4	9,734	15.3	6,504	15.3	6,425	15.5	6,325	12.1
2020年2月期第3四半期	95,431	6.0	8,869	14.5	8,443	16.7	5,643	19.5	5,564	18.2	5,642	18.7
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
			円 銭				円 銭					
2021年2月期第3四半期			87.39				86.77					
2020年2月期第3四半期			75.68				75.11					

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	172,348	52,646	52,266	30.3
2020年2月期	168,508	49,537	49,168	29.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2021年2月期	—	21.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	4.2	11,500	3.6	11,050	4.9	7,290	2.8	7,200	2.8	97.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料4ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	73,653,107株	2020年2月期	73,617,320株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	164,026株	2020年2月期	100,438株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	73,522,470株	2020年2月期3Q	73,516,708株

(注) 役員報酬BIP信託に係る信託口が所有する当社株式163,875株を自己株式として処理しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。特に、観光業、飲食業への影響は甚大なものとなりました。一方で在宅勤務や巣ごもり需要により、今までとは異なる生活形態から新たな需要が出てきております。また、雇用・所得環境においては、事業環境の厳しさから完全失業率は緩やかに悪化が続いており、上昇を続けてきた賃金水準も横ばい圏内での推移となっております。

当社グループが属する情報サービス業界は、アウトソーシング需要の高まりを受け、堅調に推移しております。また、コミュニケーション手段の急速な技術革新に伴い、消費者との対話においてもAI（人工知能）等の導入による自動化が始まる等、カスタマーサービス分野において、なお一層のサービスの高度化が求められております。一方で、当社グループの主力事業であるCRM（Customer Relationship Management）事業においては、同一労働同一賃金への対応により賃金が上昇しております。

このような経営環境の下、当社グループは中期経営計画として、「社員3万人の戦力最大化」「音声データ活用によるDX推進」「信頼と共創のパートナー成長」の実現に取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、今後成長が見込まれるヘルスケア事業強化の一環として、伊藤忠グループのエイツーヘルスケア株式会社とニューノーマル時代の新たな製薬企業向けサービス提供を目的に、医薬品・医療機器等の臨床開発・販売支援サービス事業に関し、グループ企業間における協業の取り組み強化を開始いたしました。このことにより、医薬品・医療機器等の臨床試験や製造販売後調査等のサービスフローをワンストップで完結できるアウトソーシングサービスの提案を行い、製薬企業様の管理負担軽減、相互連携による品質の高いサービス提供を実施いたします。

また、クライアント企業様が展開するダイレクトマーケティング事業（通販事業）において、当社が2019年2月より業務提携しているスプリームシステム株式会社が提供するマーケティングオートメーション(MA)ツール「Aimstar(エイムスター、以下：本ツール)」を導入し、データ抽出やレポート作成などの運用支援事業を開始しております。今後は、複合的なデータ分析による顧客のターゲティング、自動化によるレポート作成などを支援し、顧客の購買行動データ分析や様々なログを組み合わせた施策立案に貢献していきます。

その他、ニューノーマル時代におけるコンタクトセンターの「新しい働き方」の実現による生産性及び従業員満足度の向上を目的に、当社のクラウド型コンタクトセンターシステム「BellCloud®」をはじめ、アマゾンウェブサービスのクラウドテクノロジーを活用した在宅コンタクトセンター提供並びに運用を開始しております。

各セグメントの業績は以下の通りであります。

#### (CRM事業)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響があったものの、社会インフラとしてのスポット需要及び前連結会計年度から業務開始した既存継続案件の売上が拡大した他、伊藤忠商事株式会社（以下、「伊藤忠商事株」と言う。）及び凸版印刷株式会社（以下、「凸版印刷株」と言う。）との協業強化によるシナジー案件も堅調に推移したこと等により、売上収益は前年同期比で増収となりました。利益面では、同一労働同一賃金により人件費が上昇するなか、増収による利益の伸長に加え、収益改善活動による効果等もあり、税引前四半期利益は前年同期比で増益となりました。

この結果、CRM事業の売上収益は1,012億57百万円（前年同期比7.4%増）、税引前四半期利益は95億73百万円（同14.1%増）となりました。

#### (その他)

前連結会計年度にその他事業に含まれていたCSO事業を事業譲渡した影響、及びコンテンツ販売収入の減少等により、その他のセグメントの売上収益は8億87百万円（前年同期比25.5%減）、税引前四半期利益は2億1百万円（同134.2%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益は1,021億44百万円（前年同期比7.0%増）、税引前四半期利益は97億34百万円（同15.3%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は64億25百万円（同15.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の状況

	2020年2月期 (百万円)	2021年2月期 第3四半期 連結会計期間 (百万円)	増減額 (百万円)
資産合計	168,508	172,348	3,840
負債合計	118,971	119,702	731
親会社所有者帰属持分比率(%)	29.2	30.3	—

流動資産は、未収還付法人所得税が2億74百万円減少しましたが、営業債権が11億96百万円、現金及び現金同等物が4億99百万円及びその他の短期金融資産が1億95百万円それぞれ増加したため、前連結会計年度末より18億12百万円増加し、287億69百万円となりました。

非流動資産は、無形資産が5億17百万円減少しましたが、有形固定資産が20億48百万円及びその他の長期金融資産が3億12百万円それぞれ増加したため、前連結会計年度末より20億28百万円増加し、1,435億79百万円となりました。

これらにより、資産合計は前連結会計年度末より38億40百万円増加し、1,723億48百万円となりました。

流動負債は、その他の短期金融負債が3億2百万円及びその他の流動負債が12億67百万円それぞれ減少しましたが、借入金が115億95百万円、未払従業員給付が11億26百万円及び未払法人所得税が10億49百万円それぞれ増加したため、前連結会計年度末より120億3百万円増加し、499億61百万円となりました。

非流動負債は、その他の長期金融負債が24億34百万円及び長期未払従業員給付が2億58百万円それぞれ増加しましたが、長期借入金が141億21百万円減少したため、前連結会計年度末より112億72百万円減少し、697億41百万円となりました。

これらにより、負債合計は前連結会計年度末より7億31百万円増加し、1,197億2百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末より31億9百万円増加し、526億46百万円となりました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により配当支払い後の利益剰余金が33億37百万円増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況の分析

	2020年2月期 第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	2021年2月期 第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,311	12,343	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,603	△1,915	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,809	△9,925	△1,116
現金及び現金同等物の期末残高	7,961	8,266	305

当第3四半期連結会計期間末現在における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億99百万円増加し、82億66百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、123億43百万円となりました（前年同期は123億11百万円の収入）。これは主に、税引前四半期利益が97億34百万円、減価償却費及び償却費が57億7百万円、法人所得税の支払額が36億69百万円及び営業債権の増加が11億96百万円それぞれ生じたこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、19億15百万円となりました（前年同期は16億3百万円の支出）。これは主に、有形固定資産の取得による支出が10億86百万円、無形資産の取得による支出が3億7百万円、持分法投資の取得による支出が2億94百万円及び敷金及び保証金の差入による支出が2億73百万円それぞれ生じたこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、99億25百万円となりました（前年同期は88億9百万円の支出）。これは主に、リース負債の返済による支出が40億85百万円、配当金の支払額が30億88百万円、長期借入金の返済による支出が22億2百万円それぞれ生じたこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月8日に発表いたしました通期の連結業績予想については変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 2020年2月29日	当第3四半期連結会計期間 2020年11月30日
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,767	8,266
営業債権	17,967	19,163
未収還付法人所得税	274	—
その他の短期金融資産	46	241
その他の流動資産	903	1,099
流動資産合計	26,957	28,769
非流動資産		
有形固定資産	32,674	34,722
のれん	96,250	96,250
無形資産	3,323	2,806
持分法で会計処理されている投資	1,584	1,742
繰延税金資産	1,941	1,971
その他の長期金融資産	5,735	6,047
その他の非流動資産	44	41
非流動資産合計	141,551	143,579
資産合計	168,508	172,348

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 2020年2月29日	当第3四半期連結会計期間 2020年11月30日
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	6,144	5,946
借入金	10,436	22,031
未払法人所得税	1,265	2,314
未払従業員給付	9,941	11,067
その他の短期金融負債	5,112	4,810
その他の流動負債	5,060	3,793
流動負債合計	37,958	49,961
非流動負債		
長期借入金	57,742	43,621
引当金	1,715	1,870
長期未払従業員給付	302	560
繰延税金負債	96	96
その他の長期金融負債	21,156	23,590
その他の非流動負債	2	4
非流動負債合計	81,013	69,741
負債合計	118,971	119,702
資本		
資本金	27,033	27,050
資本剰余金	3,436	3,450
その他の資本の構成要素	△82	△252
利益剰余金	18,984	22,321
自己株式	△203	△303
親会社の所有者に帰属する持分合計	49,168	52,266
非支配持分	369	380
資本合計	49,537	52,646
負債及び資本合計	168,508	172,348



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	当第3四半期連結累計期間 自 2020年3月1日 至 2020年11月30日
売上収益	95,431	102,144
売上原価	△76,246	△80,978
売上総利益	19,185	21,166
販売費及び一般管理費	△10,239	△11,125
その他の収益	109	174
その他の費用	△186	△68
営業利益	8,869	10,147
持分法による投資損益	47	26
金融収益	66	79
金融費用	△539	△518
税引前四半期利益	8,443	9,734
法人所得税費用	△2,800	△3,230
四半期利益	5,643	6,504
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	5,564	6,425
非支配持分	79	79
四半期利益	5,643	6,504

(単位：円)

## 1株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益	75.68	87.39
希薄化後1株当たり四半期利益	75.11	86.77

## 第3四半期連結会計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結会計期間 自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	当第3四半期連結会計期間 自 2020年9月1日 至 2020年11月30日
売上収益	32,395	35,273
売上原価	△25,871	△27,916
売上総利益	6,524	7,357
販売費及び一般管理費	△3,503	△3,858
その他の収益	38	35
その他の費用	△70	△10
営業利益	2,989	3,524
持分法による投資損益	19	△32
金融収益	0	1
金融費用	△179	△175
税引前四半期利益	2,829	3,318
法人所得税費用	△950	△1,100
四半期利益	1,879	2,218
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	1,857	2,175
非支配持分	22	43
四半期利益	1,879	2,218

(単位：円)

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	25.26	29.57
希薄化後1株当たり四半期利益	25.06	29.34

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	当第3四半期連結累計期間 自 2020年3月1日 至 2020年11月30日
四半期利益	5,643	6,504
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産で生じた利得(損失)	10	△71
合計	10	△71
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△11	△3
持分法によるその他の包括利益	—	△105
合計	△11	△108
その他の包括利益合計(税引後)	△1	△179
四半期包括利益	5,642	6,325
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	5,563	6,246
非支配持分	79	79
四半期包括利益	5,642	6,325

## 第3四半期連結会計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結会計期間 自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	当第3四半期連結会計期間 自 2020年9月1日 至 2020年11月30日
四半期利益	1,879	2,218
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産で生じた利得(損失)	7	△0
合計	7	△0
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2	2
持分法によるその他の包括利益	—	△55
合計	2	△53
その他の包括利益合計(税引後)	9	△53
四半期包括利益	1,888	2,165
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	1,866	2,122
非支配持分	22	43
四半期包括利益	1,888	2,165

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	その他の資本 の構成要素	利益剰余金
2019年3月1日現在	27,033	4,137	△72	14,845
四半期利益	—	—	—	5,564
その他の包括利益	—	—	△1	—
四半期包括利益合計	—	—	△1	5,564
株式報酬取引	—	—	14	—
剰余金の配当	—	—	—	△2,867
非支配持分株主との取引	—	△700	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△1	—	—
所有者との取引等合計	—	△701	14	△2,867
2019年11月30日現在	27,033	3,436	△59	17,542

	自己株式	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2019年3月1日現在	△206	45,737	755	46,492
四半期利益	—	5,564	79	5,643
その他の包括利益	—	△1	—	△1
四半期包括利益合計	—	5,563	79	5,642
株式報酬取引	—	14	—	14
剰余金の配当	—	△2,867	—	△2,867
非支配持分株主との取引	—	△700	△469	△1,169
自己株式の取得	△0	△0	—	△0
自己株式の処分	3	2	—	2
所有者との取引等合計	3	△3,551	△469	△4,020
2019年11月30日現在	△203	47,749	365	48,114

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	その他の資本 の構成要素	利益剰余金
2020年3月1日現在	27,033	3,436	△82	18,984
四半期利益	—	—	—	6,425
その他の包括利益	—	—	△179	—
四半期包括利益合計	—	—	△179	6,425
株式報酬取引	—	—	17	—
新株予約権の行使	17	17	△8	—
剰余金の配当	—	—	—	△3,088
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△0	0
自己株式の取得	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△3	—	—
所有者との取引等合計	17	14	9	△3,088
2020年11月30日現在	27,050	3,450	△252	22,321

	自己株式	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2020年3月1日現在	△203	49,168	369	49,537
四半期利益	—	6,425	79	6,504
その他の包括利益	—	△179	—	△179
四半期包括利益合計	—	6,246	79	6,325
株式報酬取引	—	17	—	17
新株予約権の行使	—	26	—	26
剰余金の配当	—	△3,088	△68	△3,156
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—
自己株式の取得	△110	△110	—	△110
自己株式の処分	10	7	—	7
所有者との取引等合計	△100	△3,148	△68	△3,216
2020年11月30日現在	△303	52,266	380	52,646

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	当第3四半期連結累計期間 自 2020年3月1日 至 2020年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,443	9,734
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び償却費	5,217	5,707
固定資産除売却損益(△は益)	111	61
子会社株式売却損益(△は益)	△27	—
事業譲渡損益(△は益)	49	—
持分法による投資損益(△は益)	△47	△26
金融収益	△66	△79
金融費用	539	518
営業債権の増減額(△は増加)	△1,786	△1,196
営業債務の増減額(△は減少)	1,159	△91
未払消費税の増減額(△は減少)	832	4
その他	1,806	1,385
小計	16,230	16,017
利息及び配当金の受取額	107	137
利息の支払額	△424	△416
法人所得税の支払額	△4,672	△3,669
法人所得税の還付額	1,070	274
営業活動からの正味キャッシュ・フロー	12,311	12,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△835	△1,086
無形資産の取得による支出	△675	△307
有価証券の取得による支出	△100	—
有価証券の売却による収入	—	0
持分法投資の取得による支出	—	△294
敷金及び保証金の差入による支出	△295	△273
敷金及び保証金の回収による収入	11	39
事業譲渡による収入	127	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	95	—
政府補助金による収入	69	6
その他	△0	△0
投資活動からの正味キャッシュ・フロー	△1,603	△1,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	4,000	△400
長期借入れによる収入	6,000	—
長期借入金の返済による支出	△11,202	△2,202
配当金の支払額	△2,868	△3,088
非支配持分への配当金の支払額	—	△68
株式の発行による収入	—	25
自己株式の売却による収入	—	3
自己株式の取得による支出	△0	△110
リース負債の返済による支出	△3,572	△4,085
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,169	—
その他	2	—
財務活動からの正味キャッシュ・フロー	△8,809	△9,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△4
現金及び現金同等物の正味増減額(△は減少)	1,899	499
現金及び現金同等物の期首残高	5,971	7,767
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	91	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,961	8,266

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎に決定されております。なお、当社グループの事業セグメントは、CRM事業及びその他事業から構成されており、サービスの種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

当社グループは、主にコンタクトセンター運営及びその付帯業務を取り扱うCRM事業で構成されております。当社グループの収益、純損益の絶対額及び資産の金額のいずれにおいても、大部分が当該事業から構成されております。そのため、報告セグメントはCRM事業のみとしております。

セグメント間の振替価格は、第三者との取引に準じた独立当事者間取引条件に基づいて行っております。

当社グループの報告セグメント情報は以下の通りであります。

前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

	CRM事業	その他	調整及び消去	(単位:百万円) 連結
売上収益				
外部収益	94,240	1,191	—	95,431
セグメント間収益(※)	—	176	△176	—
売上収益合計	<u>94,240</u>	<u>1,367</u>	<u>△176</u>	<u>95,431</u>
その他の損益				
減価償却費及び償却費	△5,197	△20	—	△5,217
持分法による投資損益	47	—	—	47
金融収益	66	0	—	66
金融費用	△539	△0	—	△539
報告セグメントの税引前四半期利益	<u>8,392</u>	<u>86</u>	<u>△35</u>	<u>8,443</u>

(※) セグメント間収益は連結時に消去され、「調整及び消去」の欄に含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

	CRM事業	その他	調整及び消去	(単位:百万円) 連結
売上収益				
外部収益	101,257	887	—	102,144
セグメント間収益(※)	—	275	△275	—
売上収益合計	<u>101,257</u>	<u>1,162</u>	<u>△275</u>	<u>102,144</u>
その他の損益				
減価償却費及び償却費	△5,689	△18	—	△5,707
持分法による投資損益	26	—	—	26
金融収益	79	0	—	79
金融費用	△518	—	—	△518
報告セグメントの税引前四半期利益	<u>9,573</u>	<u>201</u>	<u>△40</u>	<u>9,734</u>

(※) セグメント間収益は連結時に消去され、「調整及び消去」の欄に含まれております。



## (1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益の金額は、親会社の普通株主に帰属する四半期利益を、当四半期連結累計期間における基本的加重平均発行済普通株式数で除して計算しております。

希薄化後1株当たり四半期利益の金額は、親会社の普通株主に帰属する四半期利益を、当四半期連結累計期間における基本的加重平均発行済普通株式数に、全ての希薄化効果を有する潜在的普通株式が普通株式へ転換された場合に発行されるであろう普通株式の加重平均値を加えたもので除して計算しております。

なお、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定において、役員報酬BIP信託が所有する当社株式を自己株式として処理していることから、基本的加重平均普通株式数から当該株式数を控除しております。

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	当第3四半期連結累計期間 自 2020年3月1日 至 2020年11月30日
		(百万円)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	5,564	6,425
親会社の普通株主に帰属しない金額	—	—
基本的1株当たり四半期利益の計算に用いられた四半期利益	5,564	6,425
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた四半期利益	5,564	6,425
		(株)
基本的加重平均普通株式数	73,516,708	73,522,470
希薄化性潜在的普通株式の影響		
ストック・オプションによる増加	538,365	500,286
役員報酬BIP信託による増加	14,850	23,995
希薄化効果調整後の加重平均普通株式数	74,069,923	74,046,751
		(円)
親会社の普通株主に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	75.68	87.39
希薄化後1株当たり四半期利益	75.11	86.77

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。